

# 鹿屋体育大学 教員紹介

## 山田理恵 教授（研究指導担当教員）

- ・ 研究キーワード  
地域開発、文化資源、伝統的運動文化、地域の歴史

地域開発は、国際開発の基盤となることから、スポーツを通じた地域開発に関する研究成果を充実させることも必要です。そこで、地域の史実に由来するスポーツ・イベントや教材、現存する地域に固有の伝統的運動文化等の事例に着目し、スポーツを通じた地域開発からみた文化資源の有用性と課題について研究を進めています。

また、スポーツ・インテグリティの実現をめざして、アスリート保護の法制度やスポーツ界の倫理的課題を考察する共同研究も行っています。

平和な社会の構築に向けて、スポーツを通して、どのような取り組みや実践を行うことができるのか。本専攻で、みなさんと一緒に、スポーツの素晴らしい価値と可能性を探究していきたいと思っています。

## 森克己 教授（研究指導担当教員）

- ・ 研究キーワード  
チャイルド・プロテクション、アスリート保護、スポーツ・インテグリティ、スポーツ法、スポーツ政策

私の専門研究分野である子どものスポーツ指導における体罰・虐待防止のチャイルド・プロテクションは、国連の「国連平和と開発のためのスポーツ事務所」(United Nations Office on Sport for Development and Peace)でもスポーツにおける開発を進める上で重要なテーマと位置付けています。本専攻では、国際開発に関わる重要かつ最先端の問題を取り扱っています。この分野に興味・関心のあるみなさんと一緒に楽しく研究していきたいと思ひます。

## 北村尚浩 教授（研究指導担当教員）

- ・ 研究キーワード  
レジャー・レクリエーション、生涯スポーツ学、スポーツ社会学

スポーツ社会学、生涯スポーツ学、レジャー・レクリエーション学が専門です。10年ほど前から、武道の文化的側面と中学校での教育効果について研究しています。

## ISLAM MOHAMMOD MONIRUL 准教授（研究指導担当教員）

- ・ 研究キーワード  
転倒予防、高齢者、家庭型運動

高齢者における日常生活動作を自立的に行うためにレジスタンス運動が推奨されています。しかし、運動に際してマシントレーニングなどを使用する方法は、高齢者には価格の面などからしても有用ではないため費用対効果が高いレジスタンス運動法が欠かせません。イスラム研究室ではペットボトル体操を中心としたモニ体操を利用して定期的に高齢者の健康づくりを行っています。モニ体操の特徴は、ペットボトルさえあればどこでもできる、だれでもできるという利点があり、費用がほとんどかからないため途上国の高齢者の健康づくりのためにも適切であり、スポーツを通じた国際開発に貢献できると考えられます。

## 国重徹 教授（授業のみ担当教員）

- ・ 研究キーワード  
英語教育、多読、異文化理解、メディアトレーニング、アカデミックプレゼンテーション

私は主に多読・多聴による効果的な英語学習プログラムの開発について研究をしています。また、異文化理解や異文化コミュニケーションの重要性や課題、アスリートが英語で適切なメディア対応をできるようにするためのトレーニングプログラムの作成、学生がスポーツ科学分野の研究内容を英語でプレゼンテーションできるようにするための有用な指導方法に関する研究も行っています。本専攻では、Intercultural Exchange and Communicationという授業を、山田先生、ヨーコ・ゼッターランド先生とで担当します。スポーツ国際開発の推進に必要な異文化交流・コミュニケーションの問題について共に考えましょう。

## 中村勇 講師（授業のみ担当教員）

- ・ 研究キーワード  
国際武道論、柔道

柔道の国際普及現場での経験を生かし、武道、特に柔道の普及史や国際化を研究しています。日本文化伝播論の授業を担当。日本の伝統文化に海外がどのように反応し、受け入れてきたのか、武道、特に柔道の国際化の事例を通して検証します。明治維新の30年後、パリの目抜き通りやアメリカホワイトハウス内に武術道場ができた経緯やその後の展開、伝統を守りつつ国際普及を進めることの困難さなどをディスカッションしながら学んでいきます。

## 隅野美砂輝 講師（授業のみ担当教員）

- ・ 研究キーワード  
スポーツ経営学

私の研究領域はスポーツマネジメント、中でもスポーツマーケティングや、スポーツ観戦者の消費行動研究を専門にしています。スポーツ国際開発学とは異なる分野ですが、スポーツを通じて国際開発活動を行なっていく際には、スポーツマネジメントやスポーツマーケティングの仕組みを利用する機会もきっとあるはずで、スポーツには世の中を良い方向に変える大きなチカラがあります。そのチカラをどのように生かしていけば良いか？ スポーツ国際開発学共同専攻を通じて学んでいきましょう。



武道館



スポーツパフォーマンス研究センター



サッカー場